

乳幼児健診におけるアンケート併用の効果

その1 母親（家族）のアンケート用紙記入の実態

伊藤 玲子* 佐々木 芳枝*

秋田県小児保健会

環境保健部公衆衛生課

I はじめに

行政的に行なう乳幼児健診をより効果的にするため、異常の早期発見の情報源として、健診に際しアンケート併用を行なうこととした。このため、秋田県小児保健会医師グループの協力を得てこれを作成し、昭和47年6月より健診に用いている。

アンケートは、¹⁾A発育、B行動発達、C形態異常、D病気異常、E養護の面よりなり、3～7カ月、9～12カ月、2才別で、それぞれ約30項目のチェック式である。

(表一)

表1 アンケート用紙の内容

事 項		3 ～ 6 月	9 ～ 12 月	2 才	3 才
A	発 育	1項目	1項目	2項目	東京都三才児研究会案
B	行動発達	6	7	8	
C	形態異常	1	3	9	
D	病気異常	18	11		
E	養 護	3	8	10	
F	そ の 他	心配な事	心配な事	心配な事	

昭47.6より使用

今回は、3カ月、12カ月児について、母親（家族）の記入の実態について検討し、健診に対し、アンケート利用の反省としたい。

II 対象, 方法

昭和47年6月～48年12月までの郵送法で案内の乳児健診にあわせて行なった3カ月児、38市町村5421名、12カ月児、33市町村1610名である。この市町村を、農林省経済地区帯区分に従い、秋田市（A）、平地農村（B）、農山村（C）に分け（表2、図1）、記入の実態を調査した。内容は、記入者、母親や家族の子どもへの問題意識、アンケート項目別の観察状況、記入態度、家庭環境（母の職業、出生順位、祖母同居）を検討した。

III 成 績

A アンケート用紙の記入者

表3の如く、約60～70%が母親であり、父は約4%で、地区別には大差がない。記入なしが各地区とも20～30%となっている。（以下記入者を母親で代表す）。

表2

アンケート調査対象

(昭47.6～48.12)

月 令 事 項 経済地区帯別	3 カ 月				12 カ 月			
	市町村数	調 査 数		計	市町村数	調 査 数		計
		47 年	48 年			47 年	48 年	
A (秋 田 市)	1	1,870	1,739	3,609	1		1,253	1,253
B (平 地 農 村)	18	523	617	1,140	14	84	90	174
C (農 山 村)	19	380	292	672	18	149	34	183
計	38	2,773	2,648	5,421	33	233	1,377	1,610

*秋田県衛生科学研究所

図1 秋田県市町村経済地区帯区分

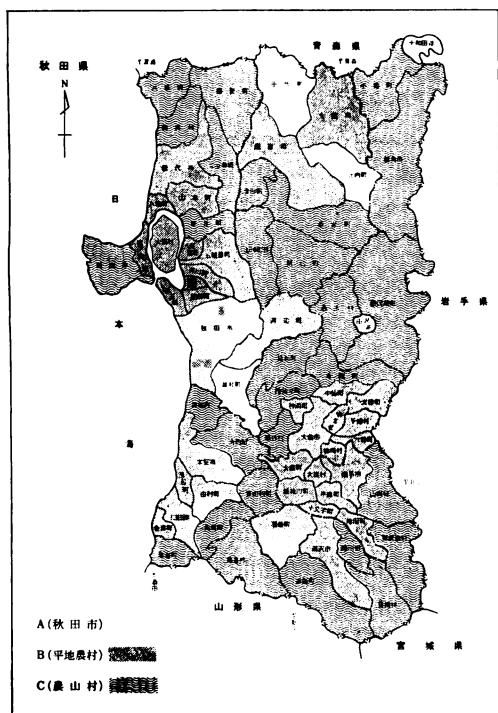


表3 アンケートの記入者
(昭47.6～48.12)

経済地区帯別	3 カ 月			12 カ 月		
	母 父 記入なし			母 父 記入なし		
	%	%	%	%	%	%
A (秋 田 市)	71.6	4.0	20.3	75.5	3.8	20.2
B (平 地 農 村)	71.1	3.1	24.3	66.3	5.4	28.9
C (農 山 村)	59.1	5.4	34.1	66.9	4.1	33.1
計	70.2	4.0	22.6	73.7	4.0	22.3

※12カ月のA（秋田市）は、48年のみ

B 母親の子どもへの問題意識

表4、図2は、3カ月児の母親のチェック状況をみたものである。A、B、C何れの地区も、母親が子どもに対し、何らかの問題意識を持っているものが多く、地域差はみられない。

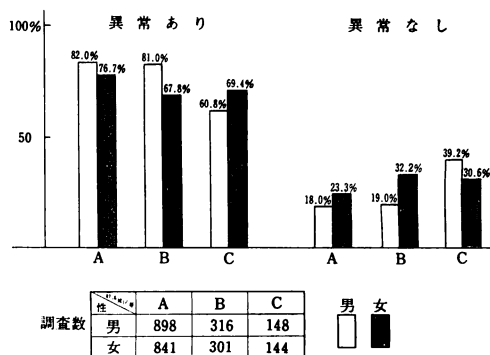
その内容の中、発育、身体異常、養護の状況の中から、主な事項をみるに表5、6、図3、4の如くで、3カ月では、ぜいめい、既往歴のあるものがAに多く、養育者の祖母の比率がB、Cに多いが、その他は、ほとんど大差がみられない。

表4 母の子どもへの問題意識 3カ月児（昭48.1～12）

母 親 の 回 答	事 項	A (秋 田 市)		B (平地農村)		C (農 山 村)		計
		男	女	男	女	男	女	
		898	841	316	301	148	144	2,648
異常あり	異常あり	736 (82.0)	645 (76.7)	256 (81.0)	204 (67.8)	90 (60.8)	100 (69.4)	2,031 (76.7)
	異常なし	162 (18.0)	196 (23.3)	60 (19.0)	97 (32.2)	58 (39.2)	44 (30.6)	617 (23.3)

() %

図2 母の子どもへの問題意識 3カ月児（昭48）



調査数	性	A	B	C	男	女
		898	316	148		
	女	841	301	144		

表5 3カ月児発育, 身体異常, 養護状況 (昭47.6~48.12) 5,421名

地区別調査表	性	A (秋田市)			B (平地農村)			C (農山村)		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
		1,861	1,748	3,609	572	568	1,140	330	342	672
1. 発育不順		△ ₂₅ (1.3)	△ ₂₂ (1.3)	△ ₄₇ (1.3)	△ ₁₁ (1.9)	△ ₁₀ (1.8)	△ ₂₁ (1.8)	△ ₆ (1.8)	△ ₅ (1.5)	△ ₁₁ (1.6)
2. 形態(形・色)異常		492 (2.6)	489 (2.8)	981 (2.7)	153 (2.6)	114 (2.0)	267 (2.3)	91 (2.7)	72 (2.1)	163 (2.4)
20. いつもせいいっぱいしている		155 (8.3)	64 (3.7)	219 (6.1)	27 (4.7)	10 (1.8)	37 (3.2)	9 (2.7)	9 (2.6)	18 (2.7)
23. 皮膚におでき、 湿疹がでやすい		661 (3.5)	533 (3.0)	1,194 (3.3)	152 (2.6)	105 (1.8)	257 (2.2)	77 (2.3)	71 (2.0)	148 (2.2)
24. ひきつけをおこしたり、 意識を失ったことあり		18 (1.0)	13 (0.7)	31 (0.9)	9 (1.4)	8 (1.3)	17 (1.5)	7 (2.1)	5 (1.5)	12 (1.8)
25. 今までに病状にかかったことあり		526 (2.8)	425 (2.4)	951 (2.6)	141 (2.4)	116 (2.0)	257 (2.2)	55 (1.6)	73 (2.1)	128 (1.9)
26. 現在治療中の病状あり		249 (1.3)	193 (1.1)	442 (1.2)	94 (1.6)	62 (1.0)	156 (1.3)	37 (1.1)	34 (1.0)	71 (1.0)
27. 主たる養育者	母	1,626 (8.7)	1,484 (8.4)	3,110 (8.6)	329 (5.7)	344 (5.6)	673 (5.9)	204 (6.1)	207 (6.0)	411 (6.1)
	祖母	128 (6.9)	154 (8.8)	282 (7.8)	163 (2.8)	158 (2.7)	321 (2.8)	90 (2.7)	108 (3.1)	198 (2.9)
28. 栄養法	母乳	401 (2.1)	448 (2.5)	849 (2.3)	107 (1.8)	138 (2.4)	245 (2.1)	79 (2.3)	96 (2.8)	175 (2.6)
	人工	1,046 (5.6)	937 (5.3)	1,983 (5.4)	289 (5.0)	272 (4.7)	561 (4.9)	159 (4.8)	139 (4.0)	298 (4.4)
	混合	391 (2.1)	353 (2.0)	744 (2.0)	153 (2.6)	138 (2.4)	291 (2.5)	86 (2.6)	102 (2.9)	188 (2.8)

() % △不明

図3 3カ月児発育, 身体異常, 養護状況 (昭47.6~48.12) 5,421名

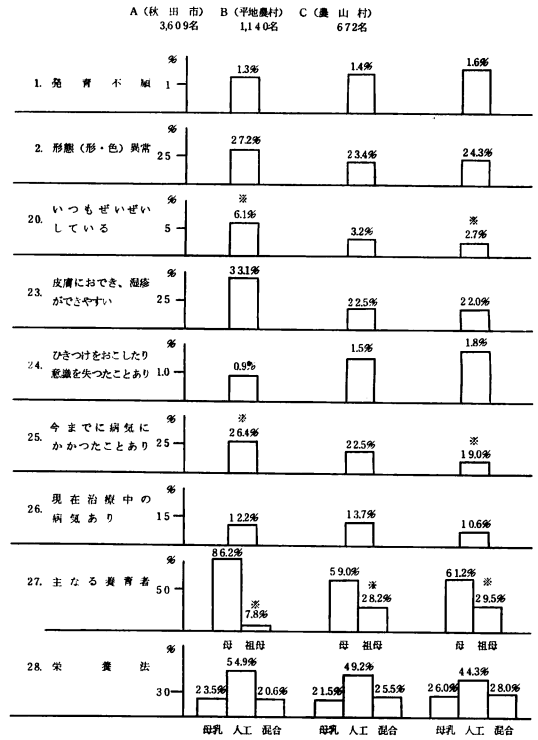


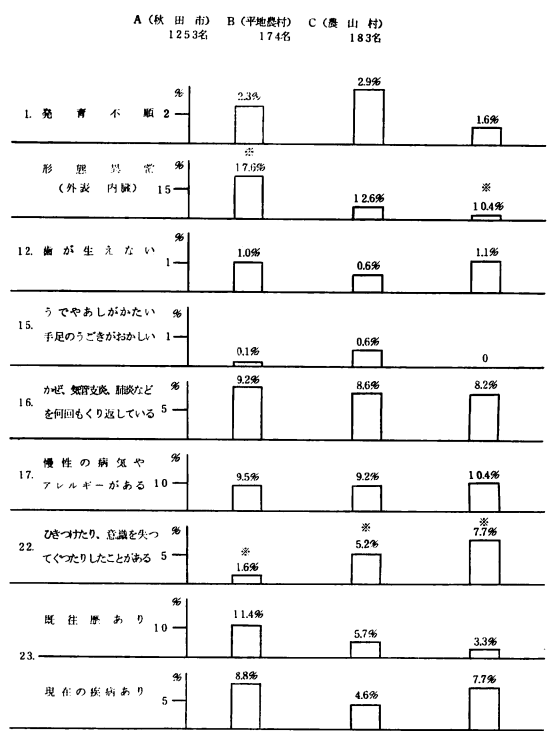
表6 12カ月児発育, 身体異常状況 (昭47.6~48.16) 1,610名

地区別調査表	性	A (秋田市)			B (平地農村)			C (農山村)		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
		628	625	1,253	93	81	174	88	95	183
1. 発育不順		△ ₉ (1.4)	△ ₂₀ (3.2)	△ ₂₉ (2.3)	△ ₂ (2.2)	△ ₃ (3.7)	△ ₅ (2.9)	△ ₃ (3.4)	△ ₃ (3.1)	△ ₆ (3.3)
形態異常 (外表・内臓)		99 (1.6)	122 (1.9)	221 (1.7)	15 (1.6)	7 (8.6)	22 (1.2)	9 (1.0)	10 (1.0)	19 (1.0)
12. 歯が生えない		7 (1.1)	6 (1.0)	13 (1.0)	0	1 (1.2)	1 (0.6)	1 (1.1)	1 (1.1)	2 (1.1)
15. うでやあしがかたいたい・手足のうごきがおかしい		1 (0.2)	0	1 (0.1)	1 (1.1)	0	1 (0.6)	0	0	0
16. かぜ、気管支炎、肺炎などを何回もくり返している		63 (1.0)	52 (8.3)	115 (9.2)	10 (1.0)	5 (6.2)	15 (8.6)	9 (1.0)	6 (6.3)	15 (8.2)
17. 慢性的病状やアレルギーがある		67 (1.0)	52 (8.3)	119 (9.5)	13 (1.4)	3 (3.7)	16 (9.2)	13 (1.4)	6 (6.3)	19 (1.0)
22. ひきつけや意識を失ったことあり		14 (2.2)	6 (1.0)	20 (1.6)	6 (6.5)	3 (3.7)	9 (5.2)	8 (9.1)	6 (6.3)	14 (7.7)
既往歴あり		64 (1.0)	79 (12.6)	143 (11.4)	5 (5.4)	5 (6.2)	10 (5.7)	1 (1.1)	5 (5.3)	6 (3.3)
23. 現在の病状あり		54 (8.6)	56 (9.0)	110 (8.8)	4 (4.3)	4 (4.9)	8 (4.6)	6 (6.8)	8 (8.4)	14 (7.7)

△ A (秋田市) は48年のみ

() % △不明

図4 12カ月児発育, 身体異常状況 (昭47.6~48.12) 1,610名



12カ月では、既往歴、形態異常ありがAに多く、ひきつけはB、Cに多いが、その他は3カ月と同様地域差がない。

C 母親のアンケート記入態度

1. 母親の注意と医師の診断

3カ月健診2648名の医師の診断から、母親や家族の注意により発見可能と思われる者218名を選定し、アンケート記入状況をみるに、その問題に気づいている者93名

(42.7%)、全然気づかない者49名(22.5%)で、あいまいな者76名(34.9%)となっている。気づいている者を地区別にみると、表7の如く、A68.7%、B34.7%、C16.7%で、気づいている者はAに多い。

2. 出産順位と記入状況

前記医師の診断と同様、その問題について気づいている者93名、全然気づかない者49名について、出産順位をみると、表8の如くで、第1子に関心が、やや強い傾向が伺われたが、統計的に有意差はみられない。

表7 医師の診断とアンケート記入状況 3カ月児

(昭48.1~12) 2,648名

事 項	枚数、 チェック有無	A (秋 田 市)			B (平 地 農 村)			C (農 山 村)		
		枚数	あ り	な り	枚数	あ り	な し	枚数	あ り	な し
血 管 腫		22	12 (54.5)	6 (27.3)	7	6 (85.7)	1 (14.3)	7	1 (14.3)	3 (42.9)
アトピー性皮膚炎		8	7 (87.5)	0	18	10 (55.6)	3 (16.7)	15	5 (33.3)	1 (6.7)
奇 形		9	5 (55.6)	4 (44.4)	8	0	2 (25.0)	4	0	2 (50.0)
斜 頸		21	16 (76.2)	2 (9.5)	6	5 (83.3)	0	2	1 (50.0)	1 (50.0)
胸 廓 変 形		1	0	0	1	0	0	4	0	2 (50.0)
心 臓 疾 患		6	2 (33.3)	2 (33.3)	2	0	2 (100.0)	0	0	0
そ け い へ ル ニ ア		7	7 (100.0)	0	3	3 (100.0)	0	0	0	0
ぜ い め い		8	7 (87.5)	0	26	2 (7.7)	9 (34.6)	23	3 (13.0)	6 (26.1)
蒙 古 様、小 頭 症		0	0	0	2	0	1 (50.0)	0	0	0
て ん か ん の 疑 い		1	1 (100.0)	0	0	0	0	0	0	0
黄 疸		0	0	0	2	0	0	5	0	2 (40.0)
計		83	57 (68.7)	14 (16.9)	75	26 (34.7)	18 (24.0)	60	10 (16.7)	17 (28.3)

() %

3. 行動発達の質問に対するわからないの解答状況

3カ月の行動発達に対し5項目、12カ月のそれに対し8項目の中、「わからない」の答についてみると、表9の如く、例えば3カ月の「首のすわり」が、A7.3%、B7.5%、C5.4%が「わからない」と答えており、月令の進むにつれ少なくなっている。12カ月では、発育の評価、子どもの要求態度の観察の「わからない」が多い。

3カ月、12カ月何れも全体として、Aの「わからない」の比率が、B、Cに比し多い傾向にあるが、有意差はみられない。むしろ、日常の診察の母親の態度としては、農村地区の方にあいまいな者が多い傾向が感じられ、アンケートの母親の訴えを受け取る時に、十分注意する必要がある。一方、アンケートの質問のあり方も再度検討を要することが反省される。

D 家 庭 環 境

アンケートの上で、母親が問題を持っており、医師の診察でも問題ありの群(3カ月932名、12カ月166名)と、母親、医師共に問題なしとしている群(3カ月368名、12カ月465名)において、子どもの家庭環境として、母の職業、出生順位、祖母同居を調査した。その結果、3カ月、12カ月何れも、子どもの問題有無の両群について、差がみられない。(表11, 12, 13, 14)。

IV ま と め

秋田県で行なっている、乳幼児健診アンケート併用に対し、母親や、家族のアンケートへの態度より、子どもについての関心、注意等を知り、健診において、アンケ

表 8

出生順位とアンケート記入状況 3 カ月児

(昭48.1～12) 2,648名

事 項 診 断 名	対 象 数 218			あ り 93			な し 49		
	例 数	あ り	な し	第1子	第2子 以 上	不 明	第1子	第2子 以 上	不 明
血 管 腫	36 (16.5)	19 (52.8)	10 (27.8)	9 (47.4)	10 (52.7)	0	4 (40.0)	3	3
ア ト ピ ー 性 皮 膚 炎	41 (18.8)	22 (53.7)	4 (9.8)	10 (45.5)	9 (40.9)	3	2	2	0
奇 形	21 (9.6)	5 (23.8)	8 (38.1)	1	4 (80.0)	0	3	5 (62.5)	0
斜 頸	29 (13.3)	22 (75.9)	3 (10.3)	16 (72.7)	6 (27.3)	0	2	1	0
胸 廓 変 形	6 (2.8)	0	2 (33.3)	0	0	0	1	1	0
心 臓 疾 患	8 (3.7)	2 (25.0)	4 (50.0)	2	0	0	1	1	2
そ け い ヘ ル ニ ア	10 (4.6)	10 (100.0)	0	7 (70.0)	3	0	0	0	0
ぜ い め い	57 (26.1)	12 (21.1)	15 (26.3)	6 (50.0)	6 (50.0)	0	1	14 (93.3)	0
蒙 古 様 小 頭 症	2 (0.9)	0	1 (50.0)	0	0	0	0	1	0
て ん か ん の 疑 い	1 (0.5)	1 (100.0)	0	1	0	0	0	0	0
黄 疸	7 (3.2)	0	2 (28.6)	0	0	0	1	1	0
計	218	93 (42.7)	49 (22.5)	52 (55.9)	38 (40.9)	3 (3.2)	15 (30.6)	29 (59.2)	5 (10.2)

() %

表 9

3 カ月児 行動発達「わからない」の比率

(昭47.6～48.12) 5,421名

事 項	調 査 数	経済地区帯									計
		A (秋田市)	B (平 地 農 村)				C (農 山 村)				
			月 令				月 令				
			3 カ月	3 カ月	4 カ月	5 カ月	6 カ月	3 カ月	4 カ月	5 カ月	
		3,609	1,140	274	246	202	672	326	246	219	5,421
1.	発育は順調でしたか	2.5	1.9	4.0	2.8	1.5	3.0	2.8	1.2	2.3	132 (2.4)
2.	音のする方にすぐ向きますか	3.0	2.3	0.7	0	0	1.6	0.6	0	0.9	146 (2.7)
3.	あやすと笑いますか	0.1	0.1	0.4	0	0	0.4	0.3	0	0.5	9 (0.2)
4.	まわりのものをよく見つめますか	1.2	0.6	0.7	0.4	0	0.6	0.3	0.4	0	54 (1.0)
5.	首はしっかりすわりましたか	7.3	7.5	2.9	0.8	0.5	5.4	4.0	0.8	1.4	386 (7.1)
計		512 (14.2)	141 (12.4)	24 (8.8)	10 (4.1)	4 (2.0)	74 (11.0)	26 (8.0)	6 (2.4)	11 (5.0)	727 (13.4)

表10

12カ月児 行動発達「わからない」の比率

(昭47.6～48.12) 1,610名

事 項	経済地区帯										計
	A (秋田市)		B (平 地 農 村)				C (農 山 村)				
	月 令		9 カ月		10 カ月		11 カ月		12 カ月		
	11 カ月	12 カ月	9 カ月	10 カ月	11 カ月	12 カ月	9 カ月	10 カ月	11 カ月	12 カ月	
	542	1,253	206	196	208	174	161	143	169	183	1,610
1. 発育は順調でしたか	0.9	2.2	1.9	5.1	3.8	2.3	3.7	2.1	1.2	1.6	35 (2.2)
2. お座りは出来ますか		0.4	0.5	0.5	0.5					0.5	6 (0.4)
3. おもちゃをつかんだり離したり自由に出来ますか	0.2		0.5								
4. 自分のしたいことや、してもらいたいことを教えますか	7.2	5.6	14.1	10.2	9.1	4.0	6.8	9.8	8.9	6.0	88 (5.5)
5. 自分のまわりのものをほしがったり触りたがったりしますか		0.2	0.5	0.5							3 (0.2)
6. そばに人がいないと淋しがりますか	1.1	0.9	1.0	0.5	1.0			0.7		1.1	13 (0.8)
7. 耳はよく聞こえるようですか		0.4		1.0		0.6					6 (0.4)
8. “ママ” “ババ” 等のことば(喃語)を話しますか	1.3	1.3	2.9	3.1	1.9	1.1	2.5	6.3	1.8	0.5	19 (1.2)
計	58 (10.7)	138 (11.0)	44 (21.4)	41 (20.9)	34 (16.3)	14 (8.0)	21 (13.0)	27 (8.19)	20 (11.8)	18 (9.8)	170 (10.6)

※A(秋田市)は48年のみ

表11 問題あり群の家庭環境(3カ月)

事 項	経済地区帯					
	A		B		C	
	484	%	298	%	150	%
母 の 職 業	農 業	9 1.9	48 16.1	45 30.0		
	農業以外の職業	73 15.1	102 34.2	48 32.0		
	な し	323 66.7	118 39.6	43 28.7		
	不明(記載なし)	79 16.3	30 10.1	14 9.3		
出 生 順 位	第 1 子	262 54.1	136 45.6	68 45.3		
	第 2 子 以上	189 39.0	151 50.7	69 46.0		
	不明(記載なし)	33 6.8	11 3.7	13 8.7		
祖 母 同 居	祖 母 同 居	122 25.2	156 52.3	84 56.0		
	祖 母 同 居 なし	362 74.8	142 47.7	66 44.0		

表12 問題あり群の家庭環境(12カ月)

事 項	経済地区帯					
	A		B		C	
	148	%	13	%	5	%
母 の 職 業	農 業	3 2.0	3 23.1	1 20.0		
	農業以外の職業	27 18.2	4 30.8	0 0		
	な し	98 66.2	3 23.1	3 60.0		
	不明(記載なし)	20 13.5	3 23.1	1 20.0		
出 生 順 位	第 1 子	76 51.4	10 76.9	2 40.0		
	第 2 子 以上	66 44.6	3 23.1	2 40.0		
	不明(記載なし)	6 4.1	0 0	1 20.0		
祖 母 同 居	祖 母 同 居	36 24.3	5 38.5	1 20.0		
	祖 母 同 居 なし	112 75.7	8 61.5	4 80.0		

ートの解釈に対する診察側の配慮、ならびにアンケート項目の妥当性の反省資料にしたい目的で、3カ月、12カ月児あわせて7031名のアンケートより、その記入の実態を観察した。

実施市町村(3カ月38, 12カ月33)を、農林省経済地区帯区分により、秋田市(A)、平地農村(B)、農山村(C)に分け、母親の子どもへの問題意識、記入態度等について検討した。その結果

1. アンケート記入者は、母親が60～70%、父親が4

%である。

2. A, B, C, 何れの地区も、母親の子どもへの問題意識は高い。

3. 発育、身体異常、養護の、母親のチェックでは、3カ月で、既往歴、養育者に、12カ月で、既往歴、形態異常、ひきつけ等に多少の地域差をみたが、他の項目はほとんど差がない。

4. 行動発達の「わからない」が、B, Cに比し、Aに多いこと、医師の問題としていることを、母親も十分

表13 問題なし群の家庭環境（3ヵ月）

事 項		経済地区帯		A		B		C	
		275	%	68	%	25	%		
母 の 職 業	農 業	7	2.5	8	11.8	10	40.0		
	農業以外の職業	57	20.7	28	41.2	6	24.0		
	な し	159	57.8	24	35.3	6	24.0		
	不明（記載なし）	52	18.9	8	11.8	3	12.0		
出 生 順 位	第 1 子	124	45.1	27	39.7	11	44.0		
	第 2 子 以 上	126	45.8	34	50.0	13	52.0		
	不明（記載なし）	25	9.1	7	10.3	1	4.0		
祖 母 同 居	祖 母 同 居	68	24.7	44	64.7	12	48.0		
	祖 母 同 居 な し	207	75.3	24	35.3	13	52.0		

表14 問題なし群の家庭環境（12ヵ月）

事 項		経済地区帯		A		B		C	
		411	%	37	%	17	%		
母 の 職 業	農 業	5	1.2	5	13.5	4	23.5		
	農業以外の職業	52	12.7	12	32.4	8	47.1		
	な し	280	68.1	14	37.8	4	23.5		
	不明（記載なし）	74	18.0	6	16.2	1	5.9		
出 生 順 位	第 1 子	212	51.6	18	48.6	9	52.9		
	第 2 子 以 上	174	42.3	17	45.9	6	35.3		
	不明（記載なし）	25	6.1	2	5.4	2	11.8		
祖 母 同 居	祖 母 同 居	111	27.0	24	64.9	7	41.2		
	祖 母 同 居 な し	300	73.0	13	35.1	10	58.8		

気づいている者が、B、Cに比しAに多いことなどは、母親の注意、関心の外、農村の特殊な背景も考慮しながら、アンケートを受け入れる必要を痛感す。

5. 質問項目の妥当性の検討にあわせ、母親が正しく理解し、観察を十分に行なうことに対し、働きかけの機会をつくることが大切であり、保健指導の重要な分野と思われる。

文 献

- 1) 伊藤玲子他：アンケート方式の採用と妊産婦，新生児，乳幼児健康相談票改訂，№.16秋田衛科所報 昭46
- 2) 秋田県農業統計要覧，秋田県農政課 昭45